

令和6年度当初予算 主要事業

教育委員会事務局

予算額
[令和5年度予算額]

事業内容

「個人と社会のウェルビーイングの実現」 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び

1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる

デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

<p>(新) <input type="checkbox"/> 「一人ひとりに合った学び実践校」設置検討事業 〔教育政策課、義務教育課、特別支援教育課、学びの改革支援課〕 これまで実施してきた実証研究の効果検証も併せて行いながら、実践校の設置に向け、カリキュラム等について検討を行う設置検討会を実施します。</p>	<p>25万8千円 [—]</p>
<p><input type="checkbox"/> 認知や発達の特性に応じた学びの充実実証研究事業 〔学びの改革支援課、特別支援教育課〕 認知や発達に特性があり、学びづらさを抱える児童生徒の学びを充実するため、特性に応じた教育方法の在り方や個々の特性を把握するアセスメントの活用による学びの実証研究を行います。 ○ 授業環境の改善実証研究(小中学校5校) ○ 通級指導教室でのアセスメント及び最適な教材の提案(通級指導教室設置5校)</p>	<p>553万3千円 [711万5千円]</p>
<p><input type="checkbox"/> 障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業(後掲) 〔特別支援教育課〕</p>	
<p><input type="checkbox"/> ICT教育推進センター事業 〔学びの改革支援課〕 公立学校におけるICT機器整備の在り方やICT機器の授業での活用方法の研究、教員のICT活用力向上研修の充実を図ります。</p>	<p>168万1千円 [219万3千円]</p>
<p><input type="checkbox"/> GIGAスクール構想をけん引するDXリーディング校事業 〔学びの改革支援課〕 1人1台端末の効果的な実践例を横展開していくため、他校とのオンラインによる協働学習など、授業連携を積極的に行う学校をリーディング校に指定するとともに、公開授業やSNSの活用により成果を発信します。 ○ DXリーディング校(小中学校のうち3校)</p>	<p>100万円 [100万円]</p>
<p><input type="checkbox"/> 個別最適な学び研究事業 〔学びの改革支援課〕 児童生徒自らが学習を調整、最適化する学びを実現するため、一人ひとりに合った教材を使用した最先端の自由進度学習等への支援を行います。 ○ アドバイザーによる実施校支援(小中学校4校)</p>	<p>76万9千円 [128万8千円]</p>
<p><input type="checkbox"/> 学びの改革パイオニア校構築支援事業 〔学びの改革支援課〕 探究的な学びや不登校等の多様な児童生徒の学びの保障について実践研究を行う学校を支援するとともに、フォーラム等を開催し、研究成果を発信します。 ○ 探究的な学び実施校支援(小中学校4校) ○ 不登校等の多様な学びの保障実施校支援(小中学校4校)</p>	<p>232万2千円 [85万2千円]</p>
<p>(新) <input type="checkbox"/> メタバースにおけるバーチャルな教育空間の活用検討事業 〔教育政策課、学びの改革支援課、心の支援課、生涯学習課〕 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、メタバースの教育的活用について、検討します。 ○ メタバースの教育的活用に係る検討会(3回)</p>	<p>19万4千円 [—]</p>
<p><input type="checkbox"/> ICT学習環境整備事業 〔学びの改革支援課、特別支援教育課〕 ICTを活用した個別最適な学びや協働的な学びを推進するため、機器の障害発生時に円滑に対応する「GIGAスクール運営支援センター」による支援や、生徒の学習状況を即時的に把握し指導改善につなげるシステムの活用などにより、ICTを活用した学びの推進を図ります。 ○ GIGAスクール運営支援センターの設置 ○ 学習状況フィードバックシステムを活用した学力向上支援(小学5年生)</p>	<p>4282万1千円 [5969万8千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>□ ICT環境整備事業 [学びの改革支援課、特別支援教育課] ICTを活用した効果的な授業展開や協働学習等を推進し、児童生徒一人ひとりの個別最適な学びの実現を図るため、公立学校のICT環境を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県立学校における探究学習のためのICT機器整備等 個人所有端末を活用したBYODによる1人1台端末の整備、授業や家庭学習で著作物が利用できる環境の整備 (新) ○ GIGAスクール構想加速化基金事業 令和元年度以降、公立小中学校に整備された1人1台端末の更新整備をするため、市町村への補助事業を実施します。 	<p>5億3233万5千円 [1億8387万2千円]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 </div>	
<p>(新) □ 未来の学校を創る校長等マネジメント力向上事業 [義務教育課、学びの改革支援課] 各学校が独自のカリキュラムを実践するためのマネジメント力を向上し、主体的に特色ある運営を行えるようにするため、校長等のマネジメント力向上研修を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校長研修(小中学校14名、高校2名) ○ 中核教員研修(小中学校25名、指導主事3名) 	<p>200万円 [—]</p>
<p>□ 幼児教育支援センター運営事業 [学びの改革支援課] すべての幼稚園・保育所・認定こども園で質の高い幼児教育を提供するため、保育者研修等について検討するとともに、実践を通して学び合うフィールド研修等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実践園・校(5園・校)での園種を越えたフィールド研修の実施 ○ 保育者育成指標に基づく保育者研修の実施 ○ 園小の接続カリキュラム「理論編・実践編」に基づいた研修の実施 	<p>737万1千円 [702万1千円]</p>
<p>□ 信州少人数教育推進事業 [義務教育課] 30人規模学級編制等に必要の教員配置を行うことにより、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 30人規模学級編制(小学校6学年、中学校全学年) 学級平均児童生徒数が35人を超える学年に教員を配置 ○ 学習習慣形成支援(小学校1・2学年) 複数教員による支援・指導(ティーム・ティーチング)のため、平均児童数が30人を超える学年の学級数に応じ教員を配置 ○ 少人数学習集団編成(小学校3～6学年、中学校全学年) 習熟の程度に差が生じやすい教科(小学校:原則算数、中学校:数学・英語)で、30人以下の学習集団が編成できるよう教員を配置 ○ 不登校等児童生徒支援 不登校支援等の課題対応に必要な教員を学校や市町村からの提案により配置 	<p>24億720万円 [29億190万円]</p>
<p>□ 小学校高学年における教科担任制推進事業(後掲) [義務教育課]</p>	
<p>(新) □ 高校生による中学生の主体的な進路選択支援事業 [学びの改革支援課] 高校生の企画、運営により県内高等学校の取組を広く紹介する、新しい形の合同説明会の開催を支援し、中学生が自分の興味や適性を見つめ、自らの意思で進路を考える機会を創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内4通学区で合同説明会を開催 	<p>47万3千円 [—]</p>
<p>□ 県立高校「未来の学校」構築事業 [学びの改革支援課] 「未来の学校」実践校において、「卓越した探究的な学び」等をテーマに先進的・先端的な研究・実践に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実践校 県立高校6校 	<p>608万4千円 [639万9千円]</p>
<p>□ 単位制を活用した教育課程効果検証事業 [高校教育課] 学年による区分を設けず、多様な科目を柔軟に選択することができる単位制の仕組みを活用した教育課程を編成・実施し、その効果について検証を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長野高校(全年次)、松本県ヶ丘高校(全年次)、屋代高校(全年次)、軽井沢高校(全年次) 	<p>1億9273万4千円 [1億7787万5千円]</p>
<p>□ カリキュラム編成支援事業 [学びの改革支援課] 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、生徒や学校、地域の状況等に応じて、特色ある教育課程を編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特色あるカリキュラムの編成・実施 県立高校78校 	<p>9127万6千円 [9589万9千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>○「学び直し」に係るカリキュラムの編成・実施 県立高校50校</p> <p>□ 高大接続改革対策支援事業 [学びの改革支援課] 高大接続に対応可能な思考力・判断力・表現力の定着と主体性をもって多様な人々と協働的に学ぶ資質・能力を培う環境を提供します。</p> <p>○ 学校の枠を越えた協働的・探究的な学習会・合同講座等の開催</p> <p>□ 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業(後掲) [高校教育課]</p>	<p>557万1千円 [639万3千円]</p>
探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上	
<p>□ 特色ある私学・民間等と連携した「探究」研修プログラム開発運用事業 [学びの改革支援課] 探究を中核とした学びの改革を推進するため、学びの改革を担う教員研修の充実や、私立学校・民間企業等と連携した教員養成研修プログラムの開発を行います。</p> <p>○ 探究学習指導力向上研修 ○ 探究研修プログラムの開発</p> <p>□ 「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業 [学びの改革支援課、特別支援教育課] 高等学校、特別支援学校の教員が、国内の先進的・先端的な教育や企業等の現場から学ぶことにより、新たな知見や発想を得るとともに、教員の意識改革を推進します。</p> <p>□ 教職員研修事業 [学びの改革支援課、義務教育課、高校教育課、保健厚生課] 教員が各キャリアステージにおいて担う役割を明らかにするとともに、自らの職責や経験、適性に応じて効果的、継続的に学び続けることができるよう、長野県教員育成指標に基づき研修を実施します。</p> <p>○ 新任教員が、教科指導や生徒指導について、基礎的・基盤的な力を身に付ける「初任者研修」 ○ 採用から5年以上の教諭が学級経営、教科指導、生徒指導等に関わる専門性を高める「キャリアアップ研修Ⅰ」 ○ 採用から10年以上の教諭がこれまでの自分の実践を振り返りながら専門性を高める「キャリアアップ研修Ⅱ」 ○ 充実期の教員が、学校の中核となる教員として専門性や人間性を高める「キャリアアップ研修Ⅲ」 ○ 教員育成協議会 ○ 採用前におけるわいせつ行為防止研修</p>	<p>333万2千円 [555万8千円]</p> <p>54万5千円 [97万4千円]</p> <p>8087万6千円 [7918万3千円]</p>
<p>□ 教員の資質向上・教育制度改善事業 [教育政策課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課] 平成25年7月に策定した「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」に基づき、信州教育への信頼回復に向けた取組を推進します。</p> <p>○ コンプライアンス委員会及びコンプライアンスアドバイザーの設置・運営 ○ 匿名性を担保した授業評価・学校評価の実施 ○ 教職員通報・相談窓口の設置・運用 ○ 専門家の協力を得た児童生徒への性暴力事案の調査</p> <p>□ 指導力不足等教員改善事業 [教育政策課] 有識者からなる判定委員会が客観的な視点のもとに、児童生徒に対する教育の責任が果たせない教員を指導力不足等教員と判定し、研修の実施など適切な対応策を講じることにより、教員の資質向上等を図ります。</p>	<p>150万8千円 [148万2千円]</p> <p>36万3千円 [39万7千円]</p>
教員のウェルビーイング向上のための働き方改革	
<p>(新) □ 魅力アップUP校支援事業 [義務教育課] 教員の長時間労働を解消するため、専門的知見を取り入れながら学校の当たり前を見直し、教員が子どもたちと十分に向き合える環境を整えます。</p> <p>(新) □ 副校長・教頭マネジメント支援員配置事業 [義務教育課、特別支援教育課] 副校長・教頭の多岐にわたる業務の負担軽減を図るため、教職員の勤務管理事務、施設管理、学校徴収金の会計管理などの諸業務を補助的に行う支援員を配置します。</p> <p>○ 配置人数 小・中学校22人、特別支援学校6人</p> <p>(新) □ 高等学校電子採点システム導入事業 [高校教育課] 高等学校入学者選抜や定期考査等における教員の採点業務の負担を軽減するため、一部の県立高等学校において、採点・集計をデジタル化する機能を有するソフトウェアを試行導入します。</p>	<p>140万5千円 [—]</p> <p>2218万5千円 [—]</p> <p>626万4千円 [—]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>[拡] □ 欠員対策のための教員配置事業 [義務教育課] 年度途中の急な教員の休職等に代替教員が確保できない場合において、子どもへの切れ目ない学びを確保するため、欠員対応の教員を配置します。 ○ 欠員対応の教員配置(小中学校教員9名)</p>	<p>4590万円 [2040万円]</p>
<p>[拡] □ 産育休代替教員の事前配置による子どもの学び継続事業 [義務教育課、特別支援教育課] 年度当初からの教員確保を図るため、5月から7月に産育休となる教員の代替教員を年度当初から前倒し配置し、子どもの学びの継続と産育休教員の負担軽減を図ります。 ○ 産育休代替教員の事前配置(小中学校教員6名、特別支援学校教員1名)</p>	<p>3459万3千円 [1988万6千円]</p>
<p>[拡] □ 小学校高学年における教科担任制推進事業 [義務教育課] 授業の質の向上や教員の担当授業時数軽減等による学校教育活動の充実及び教員の負担軽減を図るため、小学校高学年に専科指導教員を配置します。 ○ 専科(主に外国語、理科、算数、体育)指導の教員配置 小学校教員121名(R5:75名)</p>	<p>6億1710万円 [3億8250万円]</p>
<p>[拡] □ 教員業務支援員配置事業 [義務教育課、高校教育課、特別支援教育課] 学習プリント等の準備や採点業務、来客・電話対応、児童生徒の健康観察及び消毒作業等に係る教員の業務負担軽減を図り、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、授業以外の諸業務を補助的に行う教員業務支援員を配置します。 ○ 配置校 小・中学校484校(R5:357校) 高等学校60校 特別支援学校19校</p>	<p>5億1558万9千円 [3億6109万円]</p>
<p>□ 教職員復職訓練・健康審査・健康相談・研修事業 [保健厚生課] 精神神経系疾患による休職者等の職務能力の回復と円滑な職場復帰を図るため、復職訓練事業を実施します。また、メンタルヘルス研修会、管理監督者のためのメンタルヘルス相談事業により教職員の心の健康の保持増進を図ります。</p>	<p>158万7千円 [167万2千円]</p>
<p>□ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業(後掲) [学びの改革支援課、保健厚生課]</p>	
<p>□ 部活動指導員任用事業補助金(後掲) [学びの改革支援課、保健厚生課]</p>	
<p>□ 高等学校における部活動指導員配置事業(後掲) [保健厚生課]</p>	
これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進	
<p>□ 県立高校再編実施計画検討事業 [高校再編推進室] 「再編・整備計画」に基づき、統合新校ごとの「再編実施計画」を検討するため、「新校再編実施計画懇話会」において目指す学校像等について意見交換を行います。 再編・整備計画(一次分):小諸新校、佐久新校、伊那新校 再編・整備計画(二次分):中野総合学科新校、須坂新校、上伊那総合技術新校 再編・整備計画(三次分):長野東SFH新校、長野千曲総合技術新校、 再編・整備計画(三次分):岡谷諏訪総合技術新校、岡谷新校、茅野富士見新校、 再編・整備計画(三次分):塩尻総合学科新校、安曇野総合技術新校</p>	<p>631万4千円 [710万2千円]</p>
<p>□ 高等学校長野スクールデザイン(NSD)実施事業 [高校教育課、高校再編推進室] これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化に対応した県立高校の施設整備を行うため、基本設計のベースとなる施設整備基本計画の策定を外部有識者の知見を活用し実施します。 基本計画策定校 須坂新校、佐久新校、赤穂総合学科新校、中野総合学科新校</p>	<p>1億3395万8千円 [3429万7千円] [※5年度6月 1267万6千円]</p>
<p>□ 高等学校施設再編・統合整備事業 [高校教育課] 県立高校における、これからの新しい学びにふさわしい学習環境を実現するため、長野スクールデザインプロジェクトにおいて策定した施設整備基本計画に基づき学校施設の整備を行います。 対象校 小諸新校、伊那新校</p>	<p>3億7958万8千円 [—] [※5年度6月 1億1736万7千円]</p>
<p>□ 県立高校維持修繕事業 [高校教育課] 老朽化が進む県立高校において、快適な学習空間の実現やゼロカーボンに資する省エネ化を図るための計画的な改修を行うとともに、生徒が主体的に取り組む断熱改修など学習環境整美の活動を支援します。 ○ 修繕工事等の実施による施設の保全や快適な学習環境の整備 ○ 屋根・外壁等の改修、老朽化したトイレ設備の整備</p>	<p>18億2242万4千円 [13億4050万7千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>○ 気候変動対策等の環境学習を通じ、生徒が主体的に行う学習環境の整美を支援</p> <p>□ 「海外での学び」推進事業(信州つばさプロジェクト) [学びの改革支援課] 長野県の高校生が、信州に根差したアイデンティティと世界に通じる国際的視野を持ち、将来、世界の様々な分野で活躍できるよう、高校生の海外留学を支援します。</p> <p>[拡] ○ 県企画留学プログラムの実施 高校生を対象とした海外留学プログラム(SDGs探究コース、グローバルインターンシップコース、芸術コース)を企画実施</p> <p>○ 個人留学への支援 高校生の個人留学に対し、留学費用の一部を助成</p> <p>○ ウイングシェア・プログラム 高校生が主体となり、留学への気運醸成を図るため留学フェア等を実施</p> <p>□ グローカル人材育成事業 [学びの改革支援課] 信州に根ざし世界に通じる人材を育成するため、児童生徒の発信力やコミュニケーション能力を向上させる取組を推進します。</p> <p>○ WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業 グローバルリーダー育成に資する文理横断的な学習プログラムをデジタルコンテンツ化し、長野県の高校生が学校以外でも受講できる仕組みを整備します。</p> <p>○ 高校生海外研修進事業 高校生の海外留学や海外進学を促進するため、国費による学校単位の海外研修支援を行います。</p> <p>(新) ○ 児童生徒の英語力向上支援事業 他者と協働しながらのコミュニケーションを通して、英語力や学習に対する意欲を高めるため、小学校の授業への外部人材派遣や中学生向けの海外留学体験企画を実施します。</p> <p>○ 信州英語教育ルネサンス事業 小・中・高の英語担当教員を対象とした英語指導力・専門性向上研修やパフォーマンステストの実践を研究する協力校を募集し、モデル授業を普及します。</p> <p>○ 外国語指導助手(ALT)配置事業 県立高校等に43名を配置</p> <p>□ 科学教育推進事業 [学びの改革支援課] 長野県の「ものづくり」「イノベーション」を支え、けん引する科学技術人材を育成します。</p> <p>○ 科学オリンピック養成講座 高校生等を対象に専門分野(物理、化学、生物、地学、数学、情報)の大学教員による実力養成講座を実施</p> <p>○ サイエンス・アソシエーション・プロジェクト 高校等の企画により、国内の大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する研修を実施</p> <p>○ 信州サイエンスキャンプ 自然科学系の課題研究に関する合同研修会・発表会等を実施</p> <p>[拡] ○ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校支援事業 科学技術系人材の育成等を目指してカリキュラムを開発・実践 指定校 県立高校3校</p> <p>○ 信州みらいクリエイターズ育成事業 小中学生を対象に、ICTや数学、科学、技術などの力を融合させ新たなアイデアを生み出して形にする「信州Makers教室」や「信州Makersキャンプ」を実施</p> <p>(新) □ 県立高等学校DX加速化推進事業 [学びの改革支援課] デジタル等成長分野を支える人材を育成するため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムの実施やICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校の環境整備を行います。</p> <p>○ DXハイスクール 県立高校20校</p>	<p>3623万9千円 [3825万円]</p> <p>2億961万8千円 [2億1331万4千円]</p> <p>1628万7千円 [1053万5千円]</p> <p>2億円 [—]</p>
<p style="text-align: center;">信州教育の魅力向上・発信</p> <p>□ 教員志願者採用選考等事業 [義務教育課、高校教育課、特別支援教育課] 長野県の教員として働く魅力の発信や採用試験の見直しにより、質の高い教員の確保を図ります。</p>	<p>1270万1千円 [1310万1千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>□ 「高校生学びのフォーラム&信州学」推進事業 [学びの改革支援課] 地域の文化・産業・自然などを理解し、ふるさとに誇りと愛着を持ち大切にする心情を育むため、地域に根ざした探究的な学びである「信州学」を推進するとともに、探究学習の成果を発表し学び合う場を設けます。 ○ 高校生学びのフォーラム長野の開催</p> <p>□ 少年自然の家の運営等 [生涯学習課] 指定管理者により、効率的な運営を図りつつ自然体験活動等を通して少年の健全育成を支援します。 ○ 「少年自然の家(望月・阿南)」において、自然体験や特色ある体験プログラム、体験活動指導者養成を実施</p>	<p>901万7千円 [977万3千円]</p> <p>5884万5千円 [5726万6千円]</p>
2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる	
子どもの権利・安全の保障	
<p>□ 県立高校における長期入院生徒への学習支援事業 [学びの改革支援課] 長期入院中の高校生が病室内で授業が受けられるようにするため、ICT機器を活用した遠隔教育や非常勤講師等による学習支援を行います。</p> <p>□ 聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業 [高校教育課] 聴覚障がいのある生徒の学びを支援するため、授業中の音声リアルタイムで文字表示する遠隔パソコン文字通訳システムを県立高校で活用します。</p> <p>□ 放課後等体験・学習支援事業 [生涯学習課] 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちが安全で健やかに過ごすことのできる居場所づくりを推進するとともに、学習支援を必要とする小・中学生を対象とした学習支援の取組を推進します。 事業実施主体 市町村 (補助率 2/3 以内) ○ 放課後子ども教室 27市町村 76教室 小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちが健やかに育まれる居場所づくりを推進 ○ 地域未来塾 18市町村 48教室 学習支援が必要な小・中学生に対し、地域の方の協力による学習支援を実施</p> <p>□ 高校生等奨学給付金給付事業 [高校教育課] 公立高校の教育に係る経済的負担を軽減する必要があると認められる者に対して、授業料以外の教材費、学用品費、オンライン学習に必要な通信費等に充てるための給付金を支給します。</p> <p>□ 高等学校等就学支援金交付事業 [高校教育課] 公立高校の授業料に係る経済的負担の軽減を適正に行うことにより、教育の機会均等を図り、公立高校における修学を支援します。 ○ 就学支援金の支給 支給要件:保護者等の所得の課税標準額に6%を乗じ、市町村民税の調整控除額を減じた額が304,200円未満であるもの(年収目安約910万円) 支給金額:授業料相当額(全日制の場合年額118,800円以内)</p> <p>□ 高等学校奨学金等貸付事業 [高校教育課] 向学心を有しながら経済的理由により修学が困難な高校生に奨学金や遠距離通学費を無利子で貸与し、修学の促進を図ります。 奨学金貸与月額 (令和6年度より区分増設) 公立:8,000円、18,000円、28,000円 私立:20,000円、30,000円、40,000円</p> <p>□ 日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業 [高校教育課] 高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国子女が、日本の高校生活に速やかに適応できるよう、各高校に生活支援相談員を配置します。 配置校 県立高校 25校 (延べ1,030時間)</p> <p>□ 外国人児童生徒等指導研修事業 [学びの改革支援課] 外国人児童生徒等の指導に携わる教員等を対象に、児童生徒への指導や支援などについて研修会を開催し、指導力の向上を図ります。 研修会開催 専門研修(全県1回) 研究授業等の実践研修(4地区各2回)</p>	<p>44万3千円 [335万5千円]</p> <p>316万8千円 [348万5千円]</p> <p>2022万8千円 [1988万8千円]</p> <p>4億6594万4千円 [5億1385万4千円]</p> <p>39億4624万6千円 [40億2658万円]</p> <p>7716万5千円 [8574万7千円]</p> <p>315万8千円 [312万7千円]</p> <p>33万2千円 [29万1千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>□ 社会人権教育推進事業 [心の支援課]</p> <p>全ての人が支えあい、共に生きる社会の実現を目指し、様々な場を通じた人権教育・啓発により、人権意識の高揚を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育総合推進地域、人権教育研究指定校による子どもの権利や同和問題等の人権教育の実践的研究 ○ 子どもの権利等の人権をテーマとした学習講座を実施する市町村に対して助成補助率 1/2以内(補助限度額 1講座当たり25,000円) ○ 社会人権教育に関する研修会・研究協議会等の開催 	<p>481万4千円 [543万5千円]</p>
<p>□ 性被害防止に向けた指導充実事業 [心の支援課、保健厚生課]</p> <p>子どもの性被害防止のため、学校外の人材を活用した指導を推進するとともに、児童生徒が性に関する正しい知識を習得し、自己や他者を尊重して健康な生活を送ることが出来る資質・能力を養うため、性に関する指導の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 性暴力防止マニュアルの作成及び学校への配布 ○ 子どもの性被害防止教育キャラバン隊を学校へ派遣 ○ 教員の指導力向上 <ul style="list-style-type: none"> ネットを契機とする性被害防止のための指導方法等研修会 性に関する指導研修会 <ul style="list-style-type: none"> 専門研修 全県1回 実践研修 4回 外部講師(医師、助産師等専門家)派遣研修 公立学校17校 ○ 指導者養成のための全国研修会への教員派遣 4名 ○ ホームページを活用した指導資料の提供 ○ 啓発資料「性被害防止教育啓発チラシ」の作成・配布 	<p>404万2千円 [364万4千円]</p>
<p>□ 学校安全総合支援事業 [保健厚生課]</p> <p>学校種・地域の特長に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を図るため、学校防災アドバイザー(学識経験者等の専門家)を学校に派遣するほか、公開授業の実施等により近隣の学校との連携を強化し、防災を中心とした学校安全の推進に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校防災アドバイザーによる安全教育・安全管理についての指導・助言 ○ 安全教育に関する公開授業の実施 	<p>364万1千円 [366万6千円]</p>
<p>□ 学校安全指導力向上事業 [保健厚生課]</p> <p>地域や学校において、児童生徒等の安全を確保できるよう、学校における安全や危機管理に係る専門的研修等を実施し、教員の指導力向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校安全・防犯教育研修会、防災教育研修会、交通安全教育研修会の開催 ○ 心肺蘇生法実技講習会の開催 ○ 学校事故対応に関する講習会の開催 	<p>66万8千円 [71万3千円]</p>
<p>□ 安全・安心な学校給食及び食育の推進事業 [保健厚生課]</p> <p>子どもたちに正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせ、心身ともに健全な発達を促すため、家庭・地域との連携のもと、学校における食育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・家庭・地域全体で取り組む食育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭・学校栄養職員の専門研修 食育授業実践校における教科と連携した食育の実践 令和4年度「児童生徒の食に関する実態調査」の結果から、課題解決のための的確な食に関する指導を計画的に行うことで児童生徒の食育を推進 令和6年度に、第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会を長野県で開催 	<p>205万8千円 [59万9千円]</p>
多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化	
<p>□ 夜間中学設置検討事業 [義務教育課]</p> <p>義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方、本国で義務教育を修了できなかった外国籍の方等への教育機会を確保するため、県内に設置がない夜間中学の設置について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設置検討会議(4回) 	<p>38万円 [393万3千円]</p>
<p>(拡) □ サマースクールを活用した多様な学びの機会創出事業 [学びの改革支援課]</p> <p>子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、民間団体等と連携し、学校外での学びの場を提供します。</p> <p>[拡] ○ 国内外の社会人や大学生、高校生との交流型体験学習(サマースクール)</p> <p>(新) ○ 県立高校での大学生との交流会・座談会の開催(ミニサマースクール)5校</p>	<p>1476万6千円 [464万9千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>□ 安心して学べる学校づくりの推進(後掲) [心の支援課] ○ 不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業</p>	
<p>インクルーシブな教育の一層の推進</p>	
<p>□ 認知や発達の特性に応じた学びの充実実証研究事業(再掲) [学びの改革支援課、特別支援教育課]</p>	
<p>□ 特別支援学校改革事業 [特別支援教育課] 一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会をリードする特別支援学校を実現するため、特別支援学校改革を推進します。</p> <p>○ 子どもの豊かな育ちに向けたポジティブな行動支援の充実 外部専門家による実践的な研修を通じた、障がいのある児童生徒への行動支援の全県展開</p> <p>○ 特別支援学校学習環境改善事業 学習意欲、身体機能、コミュニケーション能力等の向上を図る教材などの学習環境を整備</p> <p>○ 多様性に対応できる外部専門家活用事業 一流のスポーツ選手や芸術家等を活用した授業、医療関係者等による教員への実践指導の実施</p> <p>○ 遠隔教育推進事業 重度重複障がい等により家庭等で学ぶ児童生徒に対し、タブレット端末を活用して遠隔授業を実施</p> <p>[拡] ○ LD等通級指導教室の設置事業 特別な支援を必要とする児童生徒が通常学級に在籍しつつ適切な教育的対応が受けられる学びの環境を整備 小・中学校におけるLD等通級指導教室 123 教室(R5:108教室) ことばの教室 51教室(R5:48教室) 県立高校におけるLD等通級指導教室 3 教室(R5:3教室)</p> <p>[拡] ○ 「副学籍コーディネーター」配置事業 地域の小・中学校に通う同世代の友だちと共に学べる機会を拡大するため、引率等を行う副学籍コーディネーターを増員配置 5名(R5:4名)</p> <p>○ 特別支援学校就労支援総合事業 特別支援学校高等部生徒の「働きたい」という意欲を育て、「働く力」を高めるため、技能検定(清掃部門・喫茶部門・食品加工部門)の実施や就労コーディネーター5名の配置等による就労支援の実施</p> <p>○ 特別支援教育連携協議会 第3次長野県特別支援教育推進計画における取組状況の評価等</p> <p>[拡] ○ 特別支援学校スクールバス等緊急整備事業 スクールバス乗車を希望する児童生徒のニーズに対応できるよう増車(6台)をするとともに、応急的なニーズに対応するため、大型ワゴン車(3台)をリースにて運用</p>	<p>1億5844万2千円 [1億4728万2千円]</p>
<p>(新) □ 特別支援学校の図書館機能の充実事業 [特別支援教育課] 児童生徒の個別最適な学びを一層充実させるため、特別支援学校の教育的ニーズに応じた図書の整備促進と、図書館システムの導入による業務効率化等を図ります。</p> <p>○ ニーズに応じた計画的な図書購入による蔵書数の充実</p> <p>○ 学びの充実と教員業務の効率化に向けた図書館システムの導入</p>	<p>1877万9千円 [—]</p>
<p>□ 障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業 [特別支援教育課] 障がいのある児童生徒一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を行うため、ICTやAT(アシスティブテクノロジー)の効果的な利活用により、自立と社会参加に向けた支援を実施します。</p> <p>○ 学習アプリや視線入力装置等を活用したトータル支援</p> <p>○ 専門家との連携による支援</p>	<p>828万8千円 [1131万円]</p>
<p>□ 特別支援学校長野スクールデザイン(NSD)実施事業 [特別支援教育課] これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化に対応した学習環境を実現するため、施設整備基本計画に基づき整備を行います。</p> <p>基本計画策定校 松本養護学校、若槻養護学校</p>	<p>4億4986万6千円 [982万2千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>□ 特別支援学校整備事業<令和5年度11月補正(国2次補正)含む> [特別支援教育課] 児童生徒の増加による教室不足への対応や、老朽化した学校施設・設備の改修及び修繕を計画的に行い、教育環境の向上を図ります。 ○ 特別支援学校教室増設事業 3校(飯田・安曇・小諸養護学校) ○ 特別支援学校施設計画整備事業(屋根・外壁等の改修) 9校 16か所 等 ○ 特別支援学校昇降機更新事業(設計)1校1か所 ○ 特別支援学校トイレ環境整備事業 4校8か所</p> <p>□ 特別支援教育就学奨励費事業 [特別支援教育課] 特別支援学校に通う児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、学用品やICT機器の購入費など就学に必要な経費を支給します。</p> <p>□ 医療的ケア体制整備事業 [特別支援教育課] 特別支援学校に看護師を常駐配置し、痰の吸引などの医療的ケアを必要とする児童生徒が安全かつ安心して学べる教育環境を推進します。 [拡] ○ 配置校 特別支援学校17校 常勤8名、非常勤52.5名 (R5:常勤8名、非常勤40.1名) ○ 医療的ケア研修の実施、指導医の派遣による教職員の資質向上、こども病院と連携した医療的ケア児生支援充実</p> <p>□ 障がい者チャレンジ雇用事業 [特別支援教育課] 知的・精神障がいのある方などの就業機会の拡大と、一般企業等への就職に向けたステップアップを図るため、県立学校等で障がい者のチャレンジ雇用を継続します。 チャレンジ雇用の実施 129名</p>	<p>10億253万2千円 [13億7931万9千円] [*5年度11月 3228万5千円]</p> <p>3億3155万3千円 [3億2774万円]</p> <p>1億9574万9千円 [1億2251万2千円]</p> <p>3億2997万3千円 [2億4426万1千円]</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">一人ひとりの特性に応じた学びの追求</div>	
<p>□ 認知や発達の特性に応じた学びの充実実証研究事業(再掲) [学びの改革支援課、特別支援教育課]</p> <p>□ サマースクールを活用した多様な学びの機会創出事業(再掲) [学びの改革支援課]</p> <p>□ 障がい特性に応じたICT機器等活用促進事業(再掲) [特別支援教育課]</p> <p>□ メタバースにおけるバーチャルな教育空間の活用検討事業(再掲) [教育政策課、学びの改革支援課、心の支援課、生涯学習課]</p>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援</div>	
<p>□ 安心して学べる学校づくりの推進 [心の支援課] いじめ、不登校等生徒指導上の諸課題に対して、未然防止や早期発見・早期対応に必要な支援及び相談体制の充実を図ります。 また、全ての子どもたちが安心して学べる学校づくりを推進するとともに、不登校を問題行動ととらえず、不登校児童生徒の社会的自立を支援するための仕組みづくりを推進します。 ○ 不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業 不登校児童生徒の多様な学びの場の創出や、市町村が関係団体と連携した支援体制を構築するため、多様な学び支援コーディネーターの配置等を実施 支援の仕組みづくりに取り組む市町村へのサポート体制を整備 ○ 高校生インターネット適正利用推進事業 インターネットやスマートフォン等の利用に伴う様々な問題を防止するため、高校生が情報モラルについて自ら考え、自主的にインターネット利用のルールづくりが行えるよう支援することにより、インターネットの適正利用を推進 高校生ICTカンファレンス長野大会の開催 ○ 子どもの自殺対策推進事業 教員や子ども自身が心の危機のサインを理解し、適切に対応できるように自殺予防の取組を支援 コミュニケーション力向上と人間関係づくりを目的とした講師派遣 県立高校80校×2回 「SOSの出し方に関する教育」の推進 子どもたちが、いのちや暮らしの危機に直面した時、誰にどうやって助けを求めればよいかの具体的・実践的な方法を学ぶ教育を推進</p>	<p>3億9487万6千円 [3億7207万4千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>[拡] ○ スクールカウンセラー事業 児童生徒が安心して学校生活を送り、学習に取り組めるよう、児童生徒の悩みを早期に発見し、適切かつ迅速に対応できるようスクールカウンセラー（公認心理師、臨床心理士等）を配置し、学校内における相談体制を充実 スクールカウンセラーの配置 112名（R5:111名）</p> <p>[拡] ○ スクールソーシャルワーカー活用事業 いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対応するため、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置し、地域や専門機関等と連携して困難を抱える児童生徒を取り巻く環境を改善 教育事務所への配置及び市教育委員会への派遣 スクールソーシャルワーカーの配置 41名（R5:39名）</p> <p>[拡] □ 学校生活相談体制充実事業 [心の支援課] いじめや不登校など児童生徒が抱える悩みを相談できる電話相談窓口「24時間子どもSOSダイヤル」や、LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」を設置拡充（R6:87日←R5:77日）し、子どもたちを取り巻く様々な問題の改善を図るとともに、いじめ等の未然防止を図ります。</p>	<p>2541万円 [2364万1千円]</p>
<p>3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる</p>	
<p>共学共創による地域づくり</p>	
<p>[拡] □ 学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業 [高校教育課] 学校を社会に開かれた魅力ある学びの拠点とするため、地域との新たな連携・協働を担うコーディネーターのあり方について検討を進めます。 ○ 研究校への連携コーディネーターの配置（高等学校4校） ○ コーディネーターや教員を対象とした研修会の開催</p> <p>□ 信州型コミュニティスクール促進事業 [生涯学習課] 地域とともにある学校づくりを推進するため、保護者や地域住民が学校運営に参画し、学習支援や教育環境の整備等の協働活動や学校評価に一体的に取り組む「信州型コミュニティスクール」の取組を支援します。 ○ 信州型コミュニティスクールアドバイザーの派遣 コーディネーターや教員OB等をアドバイザーとして、信州型コミュニティスクールの取組の充実を目指す地域や学校へ派遣 ○ 地域コーディネーター・ボランティア等を対象とした研修会の開催 ○ 先進事例発表会や学校・市町村教育委員会訪問による普及・啓発 ○ 関係者による公開の検討会の開催</p> <p>□ 学校評価の推進 [高校教育課、特別支援教育課] 地域に開かれた学校づくりを推進するため、県立学校に学校評議員を設置するほか、学校評価の充実を図ります。 ○ 学校評議員の設置 構成員 保護者・地域住民等 7名程度 実施校 県立高校、特別支援学校 ○ 学校自己評価、学校関係者評価 等</p> <p>□ 長野スクールデザイン(NSD)実施事業(再掲) [高校教育課、高校再編推進室、特別支援教育課]</p> <p>□ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業(後掲)[学びの改革支援課、保健厚生課]</p> <p>□ 放課後等体験・学習支援事業(再掲) [生涯学習課]</p>	<p>257万8千円 [274万2千円]</p> <p>89万2千円 [85万1千円]</p> <p>410万1千円 [417万4千円]</p>
<p>生涯を通じて学ぶことができる環境づくり</p>	
<p>□ 生涯学習推進センター事業 [生涯学習課] 県民が生涯にわたって学び、地域の課題解決を主体的に担うための生涯学習・社会教育活動を支援するため、デジタル技術を積極的に活用し、公民館・社会教育に係る指導者層の企画立案力や事業展開力の向上など人材育成を実施します。 ○ 指導者養成講座の開催 全国一を誇る公民館の活動支援を強化するため、ブロック別の公民館・社会教育に係る研修や市町村と協働した実践型講座を開催</p>	<p>1504万1千円 [1293万5千円]</p>

事業内容	予算額 [令和5年度予算額]
<p>○ 公民館活動を支援する専門アドバイザーの派遣 市町村の公民館活動を支援するための専門アドバイザーを派遣</p> <p>□ 県立図書館事業 [生涯学習課] 県内の公共図書館が、情報・知識基盤社会における多様な県民の知の拠点としての役割を果たすため、中核となる県立図書館の専門性・ネットワーク力を強化し、様々な情報を活かした新しい図書館づくりを進めます。</p> <p>○ 全ての県民が自由に「本」にアクセスできるよう、市町村との協働で電子書籍貸出サービスを提供するとともに、県立長野図書館の学術書・専門書の電子書籍を充実</p> <p>○ 共に学び合い新たな価値を創造する「信州・学び創造ラボ」の運営</p> <p>○ 県立長野図書館が所蔵する大正期・昭和初期の郷土資料をデジタル化し、デジタルアーカイブプラットフォーム「信州デジタルコモンズ」に搭載して公開</p> <p>○ 県民の学びを創発するフォーラムの開催や公共図書館職員等の育成を推進する「これからの図書館人共育プログラム」の企画・実施</p> <p>□ 社会人権教育推進事業(再掲) [心の支援課]</p>	<p>1億9493万円 [2億1066万6千円]</p>
4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる	
文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実	
<p>[拡] □ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業(国委託) [保健厚生課、学びの改革支援課] 地域全体で中学生期の多様なスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、国の実証事業を活用し、地域クラブ活動の持続可能な運営に向けた体制整備や指導者の確保等を支援します。</p> <p>○ 地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会の開催</p> <p>○ 休日の地域クラブ活動の体制整備や指導者配置支援(41市町村予定)</p> <p>[新] □ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業(県補助金) [保健厚生課、学びの改革支援課] 市町村が行う休日部活動の段階的な地域移行の円滑な実施を図るため、国の実証事業の対象とならない、地域クラブ移行前の協議会の開催等に係る経費に対して支援します。</p> <p>○ 市町村の方針策定、体制構築等に係る協議会開催等(会議・勉強会)に係る経費の支援</p> <p>[拡] □ 部活動指導員任用事業 [保健厚生課、学びの改革支援課] 部活動の充実と、教員の部活動指導の負担軽減を図るため、公立中学校への部活動指導員の任用を支援します(R6:324名←R5:261名)。</p> <p>[拡] □ 高等学校における部活動指導員配置事業 [保健厚生課] 部活動の充実と、教員の部活動指導の負担軽減を図るため、県立高校へ部活動指導員を配置します(R6:6名←R5:5名)。</p>	<p>1億121万7千円 [4355万9千円]</p> <p>211万4千円 [—]</p> <p>5952万6千円 [4484万6千円]</p> <p>228万円 [190万円]</p>